

14 番（小川義昭議員）

確かにここ数日、石川県での感染者は1桁となっておりますが、決して予断は許せないと思います。一人一人がしっかりとした感染予防対策を行うことが大切だなというふうに思います。

次に、市民協働のまちづくりと公民館の在り方についてお伺いいたします。

市民と行政がそれぞれの役割を分担し、対等な立場で協力し合う、市民協働のまちづくりや公民館の在り方に関しては、これまでに多くの同僚議員が活発な意見具申や提言を行い、様々な議論が交わされてまいりました。

2016年には、市民提案型まちづくり支援事業が始められるなど、このような経緯を踏まえ、去る4月、白山市市民協働で創るまちづくり指針策定委員会による答申が市長に提出され、「市民協働で創るまちづくり」の本市の基本的な考え方とおおむね10年間の方向性を示す、「白山市市民協働で創るまちづくりあり方方針」が策定されました。

5点目の質問です。

まず、「市民協働で創るまちづくりあり方方針」の概要についてをお示しください。

次に、市内28地区における地域コミュニティ組織の設立については、昨年度、石川・山島・千代野・蝶屋・館畑・白峰の6地区においてモデル地区を設立し、本年度は、10地区程度をモデル地区として試行的に取り組むと聞いています。併せて、モデル地区での実証の効果検証を行い、来年度には、残りの12地区で地域コミュニティ組織の設立に向けた準備を開始し、2023年度に、28地区全ての地区で、それぞれの特性を生かした取組を実行することが目標に掲げられています。

昨年度のモデル6地区での地域コミュニティ組織の設立や活動などの取組の効果検証は、どのように行われたのでしょうか。また、効果検証の結果は、今年度の10地区のモデル地区での取組にどのように生かされるのかを御答弁願います。